

2022年3月16日23:36に発生した福島県沖地震の被害状況速報(第2報)

2022年3月26日 地盤品質判定士 原 勝重

令和4年3月16日23時36分に福島県沖(北緯37度41.8分, 東経141度37.3分, 震源深さ57km)を震源とするマグニチュード7.4の地震が発生した。この地震による震度は、震度6強と強いものでした。震度6強は、登米市, 蔵王町, 相馬市, 南相馬市, 国見町で観測されました。郡山市は震度5強でした。K-net, kik-netの観測データからの最大加速度は、川崎1233gal, 山元1007gal, 梁川778gal, 三春775gal, 相馬745gal, 北上738gal, 飯館712gal, 牡鹿708gal, 船引664gal, 原町629galなどとなっています。福島県においては震度6強であった国見町と伊達市に近い梁川で778galとなっている。この付近の阿武隈川に架かる伊達橋, 伊達崎橋, 昭和大橋が損傷して通行不能になっている。

谷埋め盛土では本宮市の造成団地で亀裂が確認されました(写真-1参照)。国見インターを出たところの新幹線高架橋が傾いています(写真-2参照)。新幹線の被害箇所は1000か所に及んでいるとのことである。さらに、国見町においては人家の瓦が落ちており、国道4号沿いの建物が傾斜して倒壊の恐れがある(写真-3参照)。その他、郡山市のビックパレットでも施設の損傷が確認されている。なお、3月21日現在において福島県中通り地方の谷埋め盛土で東日本大震災と昨年2月の福島県沖地震において変状が生じた箇所を確認したところ変状は確認されなかった。

国見町役場庁舎周辺のゆすりこみ沈下, マンホールの浮き上がり, 噴砂痕を追加した。伊達市のビルの変状も追加した。



写真-1 本宮市の造成団地の谷埋め盛土箇所の変状

この場所は東日本大震災において変状した箇所でもある。



2011年4月撮影



写真-2 国見インターを出てすぐの新幹線高架橋の傾斜
(東北新幹線では、3月21日現在1000か所の損傷が確認された)



写真-3 国見町の国道4号沿いの人家の屋根瓦の落下とビルの傾斜(転倒の危険有り)
 国見町役場に聞き取りを行ったところ、傾斜が生じた日時は不明とのことであった。
 現在は、解体作業の準備が進められている。

以下に示す 2019 年 10 月の google マップのストリートビューにおいては、傾斜は認められず、2021 年 2 月の福島県沖地震と 2022 年 3 月の福島県沖地震による影響とも考えられる。

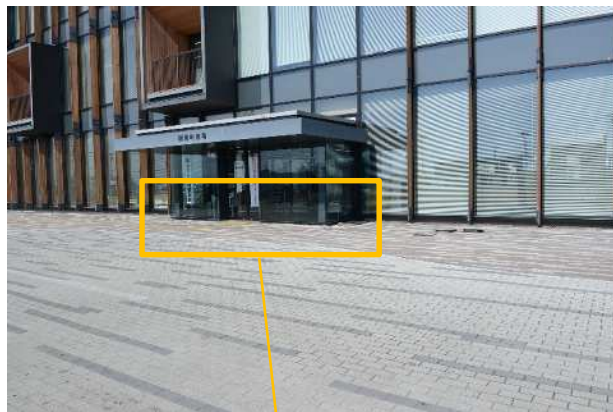


2019 年 10 月撮影の google マップ ストリートビューより



国見町役場前の緑地帯に埋設されているマンホールの浮き上がりと噴砂状況

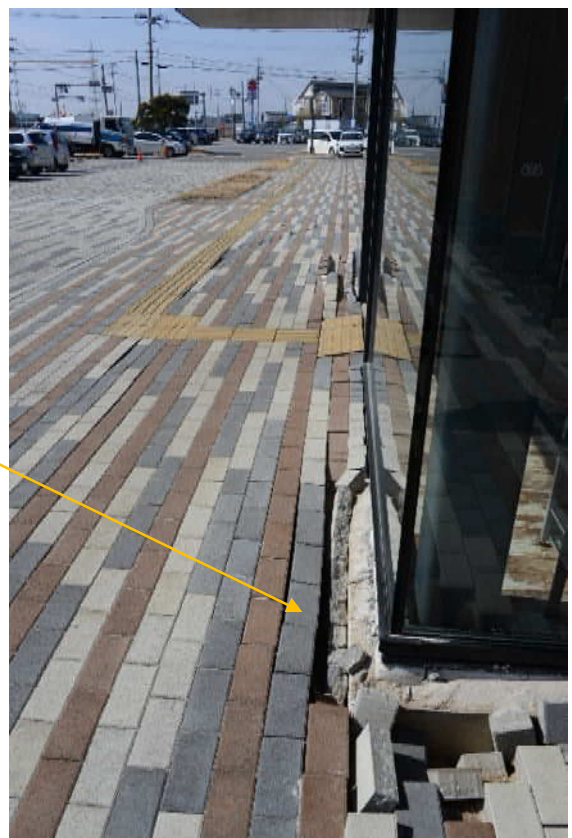
国見町役場新庁舎正面玄関周辺地盤のゆすり込み沈下状況

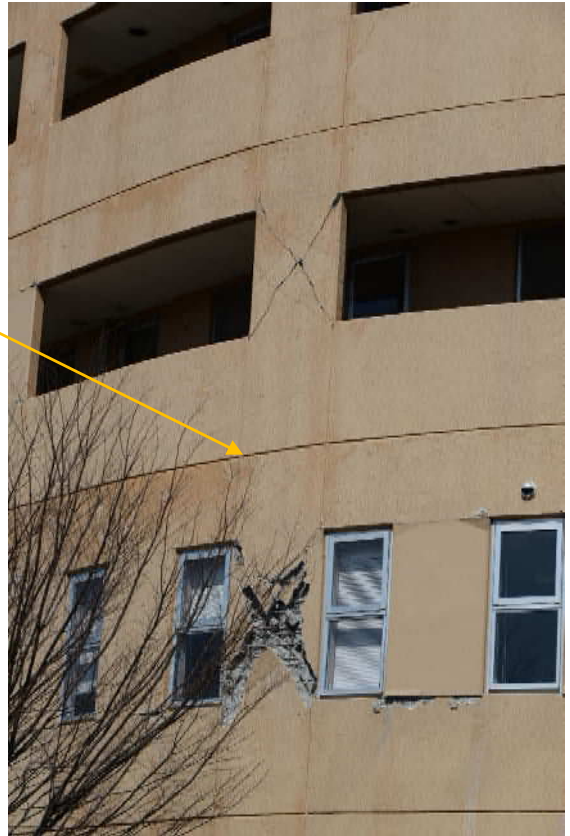


2011年4月に撮影した旧国見町役場建物周囲の沈下



2011年4月に撮影した旧国見町役場駐車場に埋設されていた下水管渠及びマンホールが液状化による変状





伊達市内の建物被害状況

